

第二百四十二話 海軍艦艇の話題 2 話

NHK 新歴史秘話ヒストリアを見ていて、寡聞にして知らなかった話題を二点紹介したい。

1 幻の巨大潜水艦 伊400

(1) 概要 (同書から引用)

太平洋戦争中に開発された日本海軍の巨大潜水艦。全長 122 メートル、全幅 12 メートル。建造当時は世界最大で、のちに原子力潜水艦が登場するまで世界一を誇っていた。船体の上部にとりつけられた格納塔に、折りたたみ式攻撃機「晴嵐」を 3 機搭載できるため「潜水空母」とも云われる。連合艦隊司令長官、山本五十六の立案により、広島県呉市で建造された。太平洋戦争終結後の 1946 年、アメリカ軍により破壊され、ハワイのオアフ島沖に沈められた。



(2) 建造

建造開始は、1943 年 1 月、竣工は 1944 年 12 月で約 2 年の歳月を要した。特に苦労した点は、巨大な格納塔を乗せる関係上、潜水艦のバランスを確保するために船体内部は二円の接合した形とし、搭載機の搭載要領には特に工夫をした。

(2) パナマ運河奇襲作戦→ウルシー環礁攻撃案に変更

大西洋から回航される米艦隊を攻撃するため、パナマ運河奇襲作戦が計画され、猛訓練が行われた。潜航運河接近後、急速浮上して晴嵐を発進、直ちに潜航する方式。パナマ運河攻撃は間に合わず、米機動部隊集結するウルシー環礁攻撃に変更された。

(3) ウルシーへの前進、玉音放送受信、帰投そして米軍に拿捕

7/20 呉出港、8/14 伊型四百一艦との合流地点到着、玉音放送後艦長に決断で呉帰港決定、日本近海で拿捕され、横須賀に帰港、米軍への引き渡し、翌年 6 月破壊沈船

(4) 発見と全容の撮影 2013 年発見、2014/10 NHK とハワイ大学の潜水調査

2 海軍のアイドル給糧艦「間宮」 (現在の補給艦) (海軍が羨ましい!)

(1) 概要 (同書から引用)

日本海軍初の食糧艦。全長 150.9 メートル、全幅 18.6 メートル。1924 年に竣工される。給糧艦とは、ほかの軍艦などに食糧を供給するための船。1928 年、間宮の艦長が嗜好品は兵士を元気にし、士気を高めるという内容の報告書を提出し、お菓子をつくるためのさまざまな設備が設けられた。船内には菓子生産室、製餡所、ラムネ製造機室などがある。



(2) 要目

基準排水量：公表値 15,820 トン、総トン数：9,500 トン

吃水：常備状態 18 ft 0+7/8 in (5.51 m)、速力：満載状態 14 ノット

燃料：石炭 1,700 トン 乗員：平時 201 名、戦時 284 名 (1938 年)

兵装：14cm 砲 2 門、8cm 高角砲 2 門、25mm 機銃等

(3) 間宮の主任務

対米戦開戦後は、連合艦隊の泊地であるトラック諸島への補給であった。10 ノットの速度で、10 日ほどを要したという。トラック諸島の海軍将兵は、過酷な任務に耐えつつも、「お菓子船」を待ち侘びたとの多数の証言がある。

(4) 間宮の苦難そして最後

1943/10、トラックに向かう途中で僚艦とはぐれ、無線で集合場所を知るも傍受していた米軍の潜水艦に攻撃され、航行不能となり、駆逐艦で横須賀に曳航

1944/12 フィリピンへの食糧補給を命ぜられ出港、12/20 米潜水艦に攻撃され沈没 (了)